

守谷市 / 地方公共団体

守谷市立けやき台中学校・御所ヶ丘中学校・黒内小学校 各校の屋内運動場 / 茨城県守谷市

守谷市は、茨城県の南西端にあり、東西南北約8kmのコンパクトな地形と利根川・鬼怒川・小貝川の3河川が流れる水と緑に恵まれたまちです。都心から40km圏内に位置し、さらに平成17年のつくばエクスプレス開通により人口が増加し、現在は人口7万人を超える地域です。

ブランドメッセージとして、「守谷は未来におせっかいです。」を掲げ、「わくわく子育て王国もりや」、「いきいきシニア王国もりや」、「地域主導・住民主導による市民王国もりや」、「スマートデジタル王国もりや」の基本施策に取り組んでいます。

本件は、昨年補助金を活用し、「防災・減災対策の充実」として、指定避難所の小・中学校屋内運動場に都市ガス停電対応型GHPを設置し、学校教育及び避難所環境の改善と強化を図った事例となります。



守谷市立けやき台中学校 屋内運動場 外観



守谷市立御所ヶ丘中学校 屋内運動場 外観
守谷市立黒内小学校 屋内運動場 外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP 56kW×8台
 内訳：けやき台中学校 3台
 御所ヶ丘中学校 3台
 黒内小学校 2台

補助金額：40,586千円(補助率1/3)※3校合計

災害時の設備用途：[発電] 屋内運動場(体育館アリーナ)へ給電(照明、コンセント利用)

[空調] 屋内運動場(体育館アリーナ)

対象施設	避難所面積	供給方式
指定避難所	2,382㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

守谷市役所 生活経済部交通防災課 様

当市は、市内の小中学校全ての屋内運動場に空調設備を設置する計画でした。設置に向けて計画を模索していたところ、ガス会社から補助金を活用した空調設備の提案を受けました。

当市は、市内13ヶ所の小中学校屋内運動場及び公共施設5ヶ所の合計18ヶ所を避難所として守谷市地域防災計画で指定しています。今回、補助金を活用し、小中学校屋内運動場に停電対応型GHPを設置することで、平時の学校教育活動における熱中症リスクが軽減され、そして災害時の避難所環境が向上し、さらには停電時にも空調が稼働し、照明・コンセントが使える環境になることで、避難所の機能が向上しました。

守谷市の各小中学校の屋内運動場は災害時に避難所として開設する際、ライフラインが遮断されるような大規模災害にも自ら発電し、非常用照明の点灯、携帯電話の充電用コンセント等の確保は、避難された市民の方の避難環境を確保するうえで必須となります。今回の補助金で、停電時に稼働できる設備の導入、さらに財政面での課題も解消できるので、導入できるチャンスと考えました。

都市ガスは、燃焼時のCO₂排出量が最も少なく優れた環境特性を持っていますが、ガス導管のため地震等に弱いイメージがありました。しかし、補助金名にも「災害時の強靱性向上に資する」とあり、さらに、「耐震性を高めた低圧ガス供給について」にもあるとおり、耐震性が高まっているものと感じています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ

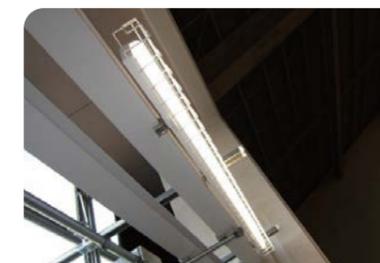


※画像は守谷市立けやき台中学校のものです。

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント

※画像は守谷市立けやき台中学校のものです。

協定概要

今回停電対応型の都市ガス設備を導入した施設(体育館)のある3校は、いずれも守谷市の指定避難所に制定されています。災害発生時には、体育館アリーナの空調および照明、コンセントが継続利用できる計画となっています。